

事業報告書（専門領域部門 神経系理学療法専門部会 小児研修会）

事業名称	神経系理学療法専門部会 小児研修会	開催日	2026/8/30(日)
開催場所	ZOOM開催	開催時間	9:00～14:30
参加者	25名（県内会員14名、県外会員11名）欠席3名		

【活動内容】

事業内容

講師：長島史明先生（医療法人社団はるたか会 あおぞら診療所まつど：理学療法士）

テーマ：こどもの「暮らし」をつなぐ理学療法—地域で子どもを支えるためにできること—を
ZOOMによる講義を行った。

感想

在宅小児医療における理学療法士の役割と、地域で子どもを支えるための具体的な実践方法を解説してくださいました。午前の講義では、病院内とは異なる生活の場でのリハビリテーションにおいて、子どもの「いつもの状態」を深く理解し、わずかな変化に気づく重要性を症例を通して伝えていただきました。専門家はバイタルサインといった数値だけでなく、表情や家族からの情報を含めた多角的な視点で子どもの身体を観察しなければなりません。複数の症例提示を通じて、状況に応じた柔軟な判断や、評価と介入を繰り返す継続的なプロセスの必要性を示していただきました。長島先生の言葉で理学療法士のフレームで決めすぎてはいけないとの言葉が印象に残っています。最終的に、リハビリの目的は単なる機能回復に留まらず、子どもの日々の暮らしを支え、最適な支援へつなげることにありと再度、認識させていただいた講義でした。午後のグループワークでは5グループに分かれ、症例提示されたものに対して意見交換、議論を行った。職域や経験年数など違う中で、各々の視点からお子さんやご家族の為に何が出来るか、先を見据えて何にをしたらいいか、考えなきゃいけないのかを話し合う貴重な機会になったかと思います。なぜ連携、つながるのか。その一つの指針や視点を共有出来たかと思います。個人情報の【個人】についてより考えるきっかけとなりました。

【活動風景】

